



● 所長就任のご挨拶

所 長 山下 菊丈

4月1日付にて名古屋市工業研究所の所長に就任いたしました山下菊丈と申します。

（財）名古屋市工業技術振興協会の会員の皆様には、日頃から工業研究所の業務に何かとご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。遅ればせながら、所長就任に際しまして一言ご挨拶させていただきたいと思います。

この4月より組織を再編して、新技術・新製品の開発とものづくり基盤技術の新たな支援にチャレンジしています。工業研究所の体制は、機械・金属、材料・化学、電子・情報の3部10研究室になり、また従来の研究企画室を充実すべく技術支援室とし、共同研究を主に担当する参事、主幹を新たに設け中小企業の皆様の産学官連携へのコーディネート機能を果たして行きたいと思っています。

平成17年度からの3ヶ年間の業務方針を発表し、「出向きます技術相談」、「オンリーワン受託研究」、「業界団体との協働プログラム」、「人材育成」の4本柱からなる「モノづくり中小企業総合技術支援事業」を核とするものです。

平成17年度、18年度の数値目標もほぼ達成できまして順調に目標に向って業務推進しているところですが、今年度は、この目標・計画の最終年度となり前年度より高い数値目標を設定して計画を実施しているところです。この数値目標は、中小企業の皆様から「頼れるパートナー」と認知されてお使いいただきこそ達成できる目標ばかりですので、積極的に工業研究所のご利用をお願い申し上げます。

ます。

国の「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律」が制定され特定ものづくり基礎技術高度化指針が示されたものづくり基盤技術の中に19分野の技術が特定されています。

工業研究所もこの19分野を含むものづくり基盤業界の方々と金型、プラスチック成形、エレクトロニクス、めっき、工業塗装の技術力強化のために技術力強化推進会議を立ち上げていただいて、業界共通の課題などについて協議し講演会、業界対応研修事業などの支援内容について検討していただいています。今後も、ものづくり基盤技術業界の皆さんにご協力いただいて拡充して行く所存ですのでよりしくお願い申し上げます。また、ものづくり基盤技術高度化支援事業への皆様の応募や中小企業連携中核人材育成事業にも積極的な支援をして参りたいと考えていますので、皆様の積極的なご提案を期待しています。

本年度は、第2次の3ヶ年計画を策定する年度にあたりますので、前3ヶ年間の実績を踏まえて、より一層の飛躍のために、また中小企業の方々のニーズに応えるために何をなすべきかを考えて計画策定にあたりたいと思っています。

最後に、工業研究所が皆様にとって使い易い工業研究所になった、気楽に相談できるようになったとご評価いただけるよう職員一丸となって努力する所存ですので、是非、ご利用いただきますようお願い申し上げます。